

## 『学科専攻別3つのポリシー』

### 〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

#### 1. 日本語日本文学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

聖心女子大学が「建学の精神」で社会に送り出すと述べている「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心（みこころ）に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」女性像は、日本語日本文学科が卒業生として求める姿でもあります。

世界と人間についての幅広い視野と深い洞察による、論理的な思考力と柔軟かつ的確な判断力を基に、自ら問題を発見しそれに対する自らの意見を自らの言葉で発信できる力を持ち、他の人との関係の中で、互いを尊重し理解し、協働しようとする意思を持つ女性。そして、それぞれの置かれた立場において全力で問題に取り組む行動力を持ち、自己表現を果たそうとする女性。生涯にわたり学び続けようとする意思を持つ女性。

これらの本学卒業生に求められる能力は、日本語学、日本文学、日本語教育学の分野に引きつけて言えば、的確な日本語の知識に基づく、高いコミュニケーション力と、過去の、また今日の日本の言語・文学・文化を理解し、世界に向けて発信できる能力、そして何より言語や文学の多様なあり方を知り、既成の枠組みにとらわれずに柔軟に思考できる能力、ということになります。

日本語日本文学科が構築した、「日本語学」「日本文学」「日本語教育学」のカリキュラムに沿って、このような自己実現を目指し努力し、その集大成を卒業論文として提出することのできた学生に対して、学位を授与します。

これらの能力を生かし、中学校・高等学校の国語教員や外国人に日本語を教える日本語教員など、専門性の高い職業をはじめ、出版、放送、通信、航空など様々な分野で、また更に高い専門的能力習得を目指す大学院で自立した女性として活躍していくことを期待しています。

#### 2. 日本語日本文学科の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

日本語日本文学科は、「日本語学」「日本文学」「日本語教育学」の三つの分野について、各年次に応じた学習の方針を作っています。

2年次生は、「日本語概論」「日本文学史」などの概説類を中心に、各分野の学問に向き合うために必要な基礎的な知識・理論、学ぶための技法を身につけます。3、4年次生と協働する演習も2年次には一つ受講することを義務づけ、上級生の姿勢を通して、それぞれの学問研究の奥深さの端緒に触れます。

3年次生は、二つ以上の「演習」を履修します。それにより、研究方法を学び、その実践を通して自身の独自の方法を探り、また他の人と共に研鑽することの喜びに触れます。複数の分野にわたる「特講」の履修も主に3年次に行います。他分野の先端で研究を進める教員の専門知識に触れ、研究に直結する方法、その成果の示し方を習得します。

主に2、3年次を通して他の専門分野の科目を関連科目として履修することによって、自身の選択する専門分野の研究に必要な多角的な視線を獲得し、補助的な知識を広範に蓄積することが

期待されます。

4年次生は、一つの分野を選択し卒業論文を執筆します。2、3年次に獲得した問題設定力、情報収集力、思考力、文章表現力を、卒業論文を指導する教員の下で「研究法実習」を履修することで一層磨き深め、日本語日本文学科での学習の集大成を目指します。

本学科では、以上の段階に従い、それぞれの分野を関連づけて学んでいくことができるように、必要かつ多彩な科目を用意しています。

### 3. 日本語日本文学科の進学生・編入学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

聖心女子大学のアドミッションポリシーで示された「大学の理念に共感し、国際化した社会の中で自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけようと希望する」学生を求めるという姿勢は、日本語日本文学科も共有しています。加えて、日本語学、日本文学、日本語教育学を専門とする学科として、私たちは日本語や日本の言語文化に興味・関心を持ち、その学習を通して、既成の枠組みにとらわれない柔軟な思考力と世界に向けて自身の考え・意見を発信するコミュニケーション力を養い、教員をはじめとする職業人として、また家庭人としての歩みの基とし、社会に貢献しようとする学生をうけいれます。

日本語日本文学科では、三つの分野の学問を学び追求しようとする学生に最も必要な資質は、何よりもあらゆる物事に興味を向け、真摯に学ぼうとする意思である、と考えています。従って、学生には、すべての科目に真剣に取り組むことを求めます。ですから、選抜の必要が出た場合には、専門に関わる試験で学生の能力を見ようとするのではなく、GPAの点数を授業に取り組む姿勢の表れと考え、その点数でもって、受け入れ学生を決定します。

編入を希望する学生についても、日本語学、日本文学、日本語教育学の専門的知識を必要以上に求めることはありません。今まで学んできた学問の成果と、日本語日本文学科で学びたいと考える理由、意欲を重視します。

編入を希望する学生についても、日本語学、日本文学、日本語教育学の専門的知識を必要以上に求めることはありません。今まで学んできた学問の成果と、日本語日本文学科で学びたいと考える理由、意欲を重視します。

2017年3月31日更新